

先生方へ

先日は私たちのコンビニエンスストアの情報活用の発表を聞いていただきありがとうございました。

その時の先生方からの質問について実際にコンビニエンスストアを見学し、聞いてきましたのでお答えします。

Q、商品の宅配などを行っているという発表があったが、それはどこのコンビニでもやっているのか？

A、大手のコンビニ(セブンイレブン、ローソンなど)では、だいたいやっているが、それは都市(郡山市、福島市など)でしかやっていないので裏磐梯ではやっていない。配送する車はセブンイレブンの車ではなく運送屋さんと連携して行っている。

Q、移動販売も行っているということだが、それはどこのコンビニでもやっているのか？

A、移動販売は、大手のコンビニ(セブンイレブン、ローソンなど)ならだいたいのところで行っている。しかし、裏磐梯では行っていない。福島県では、西会津町、坂下町、金山町などでは行っているようです。

Q、配送しているトラックがどこを走っているかやコンビニの位置は、本部で分かるようになっている。動かない配送トラックは色が変わるとのことだが、どんなことが原因で動かなくなっているのか。実際にそのようなことがあるのか、そして、そのようなことが起きた時、どのように対応するのか。

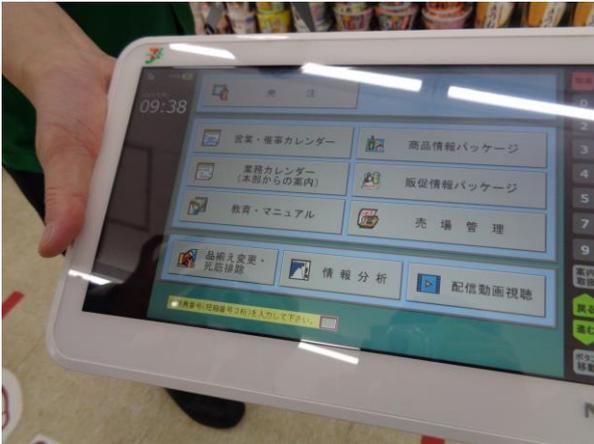
A、遠くまで運ぶ際の休憩、交通事故などによる渋滞、稀ですが配送トラック自体の交通事故が原因で動かなくなっている。配送センターからコンビニエンスストアのタブレットに連絡が入り、代わりのトラックに荷物を積み替えて運ぶようなこともある。



Q、災害などで停電になり、WiFiが使えなくなった時など、人々に必要な物を届けるために、コンビニの配送などの情報活用は、どうしているのか。

A、蓄電装置があるので、それを使ってWiFiも使える。本部とは、衛星電話や無線を使い連絡を取ることもできる。他にも、自治体と協定を結んでいるので道路の状況などの情報を共有し品物の運搬が止まらないようになっている。

その他、コンビニでは、実際にこんなものも見学してきました。



タブレット



コピー印刷機



写真ができました。